



# model : LC-507

## クーラントリフィラー

○ セット内容

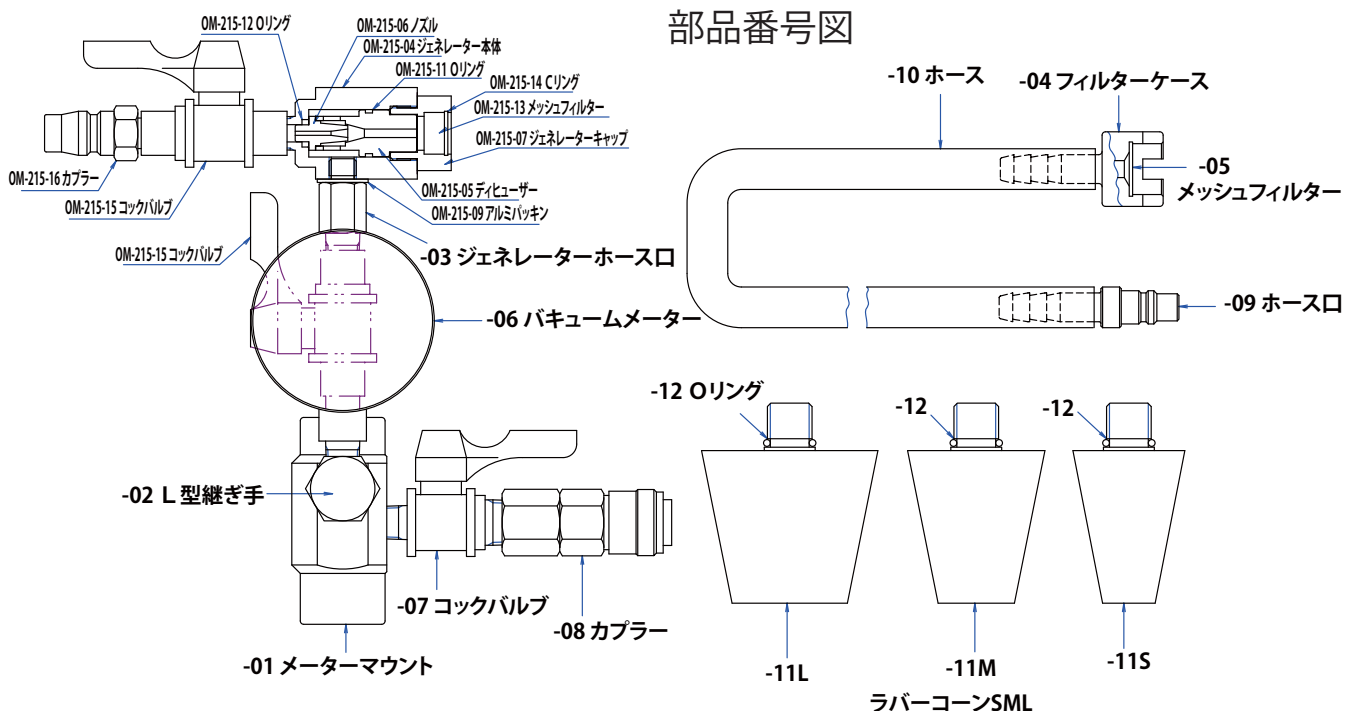


3サイズのテーパードライバーコーンで、軽自動車から乗用車のほとんどの車種に適用できます。真空引きにより、クーラント液の充填作業時間を大幅に短縮  
使用上の注意事項



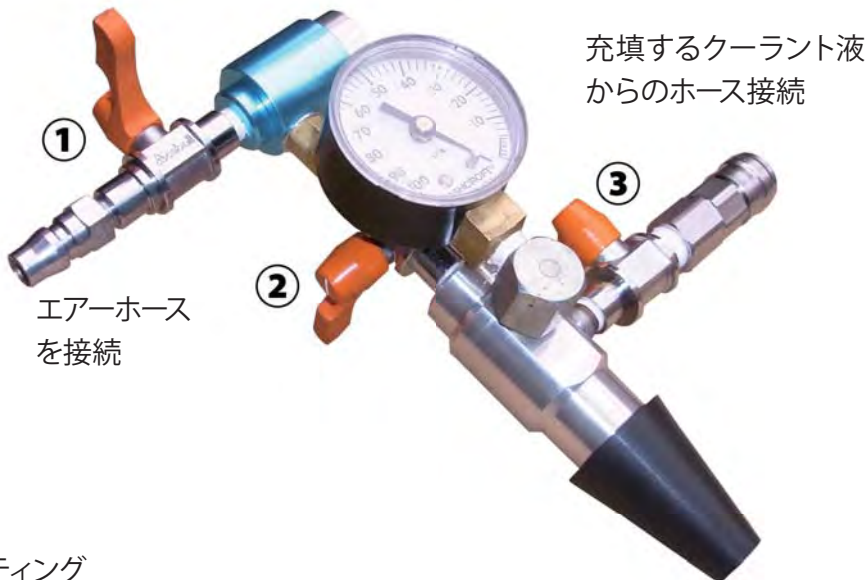
- 作業前、エンジンが十分に冷えていることを確認してください。
- 本ツールでの作業は、クーリングライン内を真空にしますので、ラジエーターホースなどはペッターリとつぶれます。ホース類が相当傷んでいる場合は、使用を控えてください。
- クーラント液が、バキュームメーターおよびバキュームジェネレーター（真空発生器）内に入り込むと、故障や性能低下の原因になります。使用中も使用後も、この部分を逆さま（下向き）にしないよう注意してください。
- クーリングライン内に漏れがある時は、本ツールを使用できません。原因を解消してください。

### 部品番号図



## 取扱説明

充填するクーラント液を容器に用意し、ラジエーターの注入口よりも高い位置に設置できるようにセッティングしてください。フィルターケースを、容器の底まで入れます。作業途中で浮いてエアーを吸ってしまうと、初めからやり直しになってしまいますので、作業中は十分にご注意ください。



### セッティング

- 1, ラジエーターの注入口に合う、ラバーコーンを選定し、メーターマウントにネジ込んで下さい。
- 2, 3カ所のコックバルブは、上記写真のように全て閉じ（ラインに対してレバーを垂直位置）ておきます。
- 3, エアーホース（エアー圧 0.7MPa 程度）を接続し、クーラント容器からのホースをカプラーに接続します。
- 4, ラジエーターの注入口にツールを立てて、適当なS管や紐などでホースを固定し、倒れないようにセッティングしてください。

### 作業開始

- 5, コックバルブ①と②を開き（ラインに対してレバーを水平に）真空引きを開始します。
- 6, その間に、コックバルブ③をわずかに開き、クーラント液がホース内を流れていることを確認しながら、バルブの直前でコックを閉じます。  
※ いきなり全開にすると、勢いよくクーラント液が流れ、バルブを超えて回路内に入り、バキュームジェネレーター排気部から吹き出しますのでご注意ください。



- 7, バキュームメーターの指針が上がりはじめ、-70 ~ -80kPa を指した辺りでバキュームジェネレーターの排気音が変わったら完了です。コックバルブを②→①の順に閉じてください。このまま15秒程メーターを目視し、指針が下がらないことを確認します。  
※ いつまでもメーターが上がらない時や、バルブを閉じててもメーターが下がっていく時は、真空漏れが発生しています。セット状態を確認してください。アダプターにゴミや傷が付いていないか、エアー圧が低くないか、クーリングライン自体に問題はないか確認してください。
- 8, 問題がなければ、コックバルブ③を全開にしてください。クーラント液が充填されていきます。メーターがゼロで作業終了。リザーバーなどの液面も確認し、暖機運転を行って最終確認をしてください。  
※ 作業後、ホースの接続部（カプラー）や、アダプターなどには、クーラント液が残らないように水洗いしてから保管してください。バキュームメーターは、常に上向きで保管してください。（クーラント液の流入防止のため）